

高校教職員
のための

発生生物学

実践

講座

2017.8.7(Mon) - 8(Tue) 理化学研究所

会場：理研 多細胞システム形成研究センター (CDB)

高校教職員のための 発生生物学実践講座 2017

【概要】

日時：2017年8月7日(月)～8日(火)10:00～17:30(予定)

会場：理化学研究所 多細胞システム形成研究センター

神戸市中央区港島南町 2-2-3 (神戸ポートアイランド内、医療センター駅すぐ)

参加費：無料

※ただし、主催者による交通費・宿泊費等の支給はありません。

【プログラム】

線虫 (*C.elegans*) は生物学研究に用いられる主要なモデル生物のひとつで、発生生物学および遺伝学分野の発展に大きく貢献してきました。その代表的な例として、全細胞系譜の解明とアポトーシスの発見、RNA 干渉 (RNAi) の発見、そして緑色蛍光タンパク質 (GFP) 導入個体の作製、と過去3度にわたり線虫を用いた研究にノーベル賞が授与されています。

そこで、本講座では、線虫を用いた実験を体験していただくとともに、最先端の研究現場で展開されている研究内容や手法をレクチャーとデモ実験を通してご紹介します。教科書に掲載されている内容がどのように発展し、最先端の研究内容へと結びついているのかを体感してください。加えて、各校での実践および教材化を目指したグループワークやディスカッションにも取り組んでいただけます。本講座で先生方で自身が感じた「気づき・感動」を、ぜひ生徒たちに伝えてください。

<内容> (※プログラム内容は変更する場合があります。予めご了承ください。)

■研究者レクチャー

- ・線虫を用いた研究の紹介～ノーベル賞研究から最先端研究まで～
- ・線虫の応答行動とその応用

■実習

- ・線虫の観察、基本操作 (卵・幼虫・成虫の観察、継代など)
- ・メンデルの法則と遺伝形質の観察
- ・RNAi による遺伝子発現抑制と表現型解析
- ・GFP 導入株を用いた遺伝子発現解析

■その他

- ・研究室見学
- ・各校での実践/教材化に向けたディスカッション

<監修・講師>

大浪修一 (理研 QBIC 発生動態研究チーム チームリーダー・
日本発生生物学会 会員)

<特別講師>

久原篤 (甲南大学理工学部 生体調節学研究室 教授)

【お申し込み】

定員：20名(予定)

応募条件：高等学校等の生物担当教員で、両日参加できる方

募集期間：7月4日(火)～7月19日(水)

※応募者多数の場合は抽選となります。

※抽選結果は登録したEメールアドレス宛てに、7月20日(遅くとも7月21日まで)にメールにてお知らせいたします。

<お申し込み方法>

参加をご希望の方は、下記 Web サイトの「お申し込みフォーム」にてご応募ください。

<http://www.cdb.riken.jp/recurrent/2017/>



【その他】

- ・本講座は兵庫、京都、大阪の各府県教育委員会より後援を受けていますが、他地域からのご参加も歓迎いたします。
- ・プログラム内容は変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・最新の情報は上記の Web サイトにてご確認ください。

【主催】

理化学研究所 多細胞システム形成研究センター (CDB)

理化学研究所 生命システム研究センター (QBIC)

日本発生生物学会 (JSDB)

兵庫県高等学校教育研究会生物部会

【後援】

兵庫県教育委員会 神戸市教育委員会 大阪市教育委員会

京都府教育委員会 京都市教育委員会

【お問い合わせ】

理化学研究所 高校教員研修係 (担当：泉)

TEL：078-306-3310 Email：cdb-pr@cdb.riken.jp

教材化を実践!

「高校生のための発生生物学実習講座」企画運営委員募集!

本講座の実践編として、「高校生のための発生生物学実習講座」を11月19日(日)(予定)に開催します。

本講座に参加された方のうち、兵庫県高等学校教育研究会生物部会会員の方の中から、11月の講座の企画運営を一緒に進めていただく「企画運営委員」を募集いたします。

詳しくは Web サイトをご参照ください。

